



カッパ天国の幕開けです!

いよいよ子供たちが楽しみにしていた、水泳の学習が始まります。それに先立って、昨日6日(月)に、私から、次のような内容を校内放送で話しました(中略)。

「水泳の学習はなんのためにあるのでしょうか?一番大事なことは、自分の命を守るためです。日本は周りを海に囲まれていて、川も身近なところにあります。また、近年水害も多く、水とかかわることが多いのです。今朝も京都で二人の小学生が川で溺れるという悲しいニュースが流れていました。このように、いざというときに自分の身を守るために、水に浮く・泳ぐという力を身に付けて、『帯西ブルーの心』を発揮して、自分の命を守って欲しいと思います。そこで水泳の学習で『注意すること』を話します。水泳は、一歩間違えると危険な学習にもなります。先生方は、みんなの安全のために、非常に注意を払って指導にあたります。ですから、いつもの指導よりも、時として厳しくすることがあります。これは、みんなの命や安全を守るためです。みんなは、先生の指示を守って、安全に水泳学習に取り組んで欲しいと思います。

水泳の学習は、1学期にしかできない、大事な学びのチャンスです。『水泳のきまり』を守りながらそして、『帯西レッドの心』を活躍させるためにも、『自分のめあて』をもって水泳の学習に臨んでほしいと思います。そして、自分のめあてが達成できるように頑張ってください。」

水泳は、普段使っていない筋肉も使われ、全身運動となります。それとともに生命にかかわる危険なこともあることを忘れてはなりません。特に体の具合の悪い時には無理をしてはいけません。コロナ禍でもありますので、ご家庭でも体調をしっかりチェックしてプールカードへの記入をお願いします。

プールへの通り道での心遣い



昨日、横断歩道で登校指導をしていると、学校の青門(プールへ行くときのみ開く門)の開く音がしました。何をしているのかと、様子を見に行くと、6年生の男の子たちが、青門のレールの中の土を一生懸命取り除いているのです。実は青門は、プールの期間しか使用しないので、レールに土が溜まりやすく、それが原因で門の開閉に力が必要となって

きます。それを知っている6年生の子供たちがさりげなくみんなのために行動している姿は、とても素敵で、とても心温かくなりました。ありがとう(^_^)